

① 学習指導案

プログラム	No.8 「わたしたちのまちに言葉の贈り物」
単元名 (全70時間)	わたしたちのまちに言葉の贈り物
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然環境に関わる探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特長に気づく。</li> <li>・地域の自然環境から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。</li> <li>・地域の自然環境についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。</li> </ul>
学習内容	1 自然環境の良さや心地よさを知る 2 無自覚であった自然環境の良さや心地よさを自覚化する 3 まちの自然環境を発信する 4 活動の成果を評価する
参考資料 準備品 実施場所等	参考：横須賀フォトライブラリ、詩集、市民作品展 等 準備品：児童用chromebook、書道用品、展示用品 等 実施場所等：児童が「自分たちのまち」と認識している場所 等

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
10	1) 自然環境の良さや心地よさを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科「市の様子」、理科「春の自然に飛び出そう」、国語「詩を楽しもう」で育む資質・能力と関連付けていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然環境についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</li> </ul>
25	2) 無自覚であった自然環境の良さや心地よさを自覚しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な方法から情報を収集していく。方法についても児童自身が見出すことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特長に気づいている。</li> </ul>
25	3) まちの自然環境を発信しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に、何のために伝えるのかを明確化し、達成するための方法を考える。</li> <li>・表現方法については他教科等と関連づけ、一人一人が個別最適に選ぶことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現しようとする。</li> </ul>

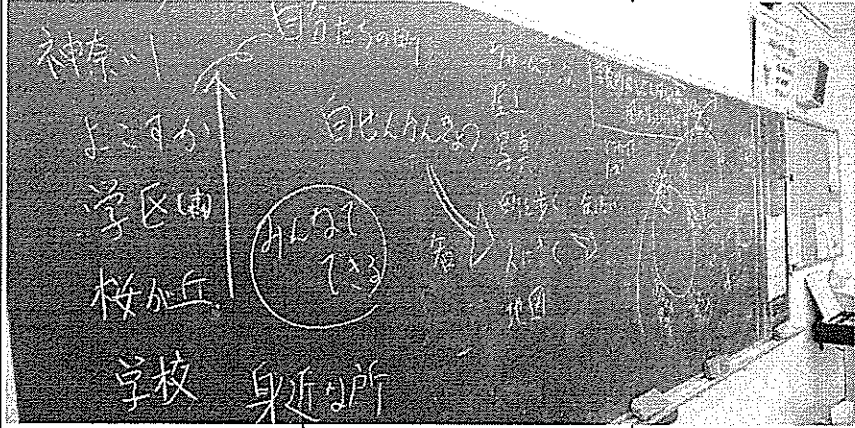
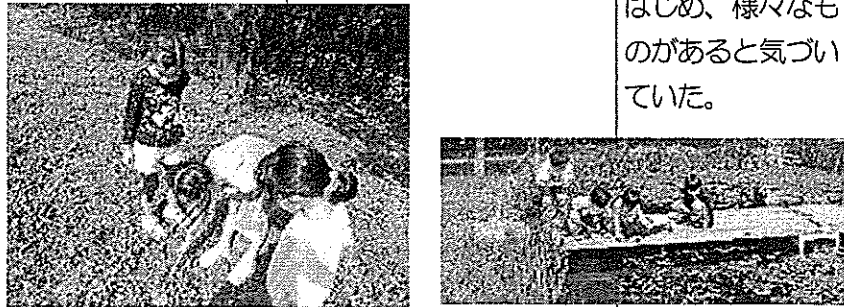
10	4) 活動の成果を評価しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学習を通してどのような力がついたのかを自覚し、今後の自分にとってどのように活用していくことができるのかを見出させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのよさを生かしながら、自ら社会に参画しようとしている。</li> </ul>
----	----------------	--	--

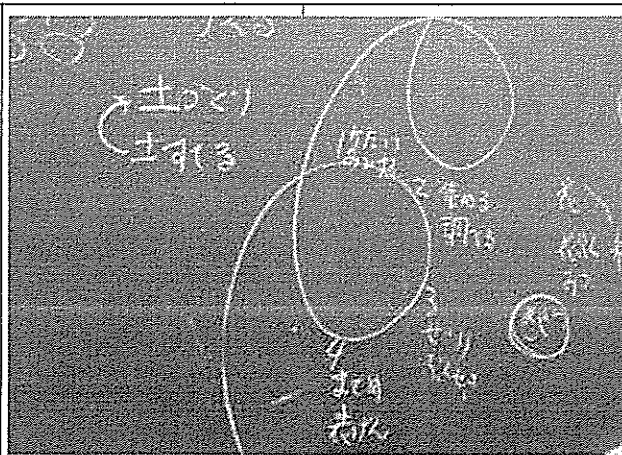

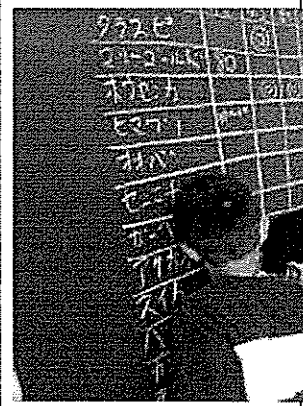

<留意点>



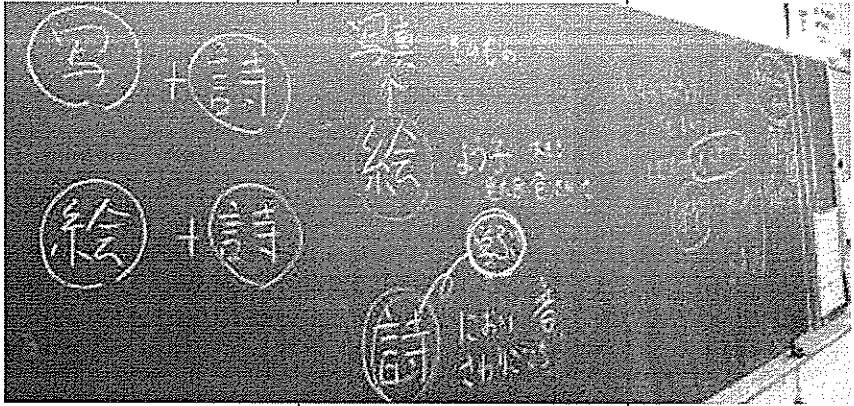

- ・感染症拡大防止対策により、他者や社会との関わり方は柔軟に対応していく。
  - 予定① 地域の魅力を発見・・・学校運営協議会、自治会 等
  - 予定② 表現方法の広がりや深まり・・・書道教室、市民作品展主催者 等
  - 予定③ 望洋小学校〇〇展示会・・・横須賀市文化会館
- ・情報収集および発信手段としてパソコンを使用するため、情報モラル教育を徹底する。




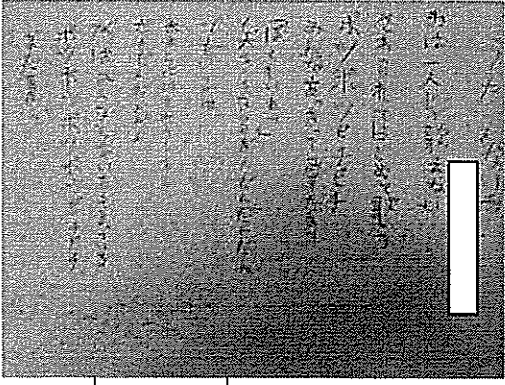
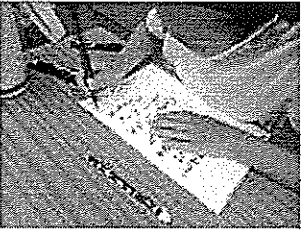
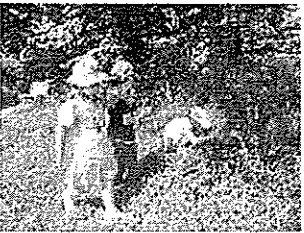
② 事業実施報告書詳細

学校名 横須賀市立望洋小学校

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
1	教室	オリエンテーション		総合的な学習の時間を経てどのような力をつけるのかを考えていた。
3	学校内の ピオトープ 教室	学校内の自然環境を見つけよう。		「自然」の中には植物・生き物をはじめ、様々なものがあると気づいていた。



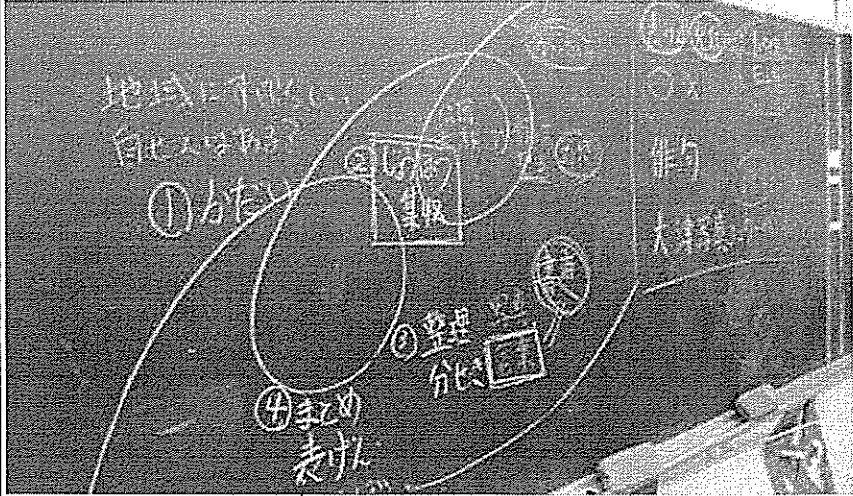
				
			 <p>学校の中で自然環境を増やすための活用できそうな道具や場所を探している。</p>	<p>理科の学習と関連付けながら「自然環境は自分たちの手で増やすことができるかもしれない」という気づきが生まれた。</p>
<p>4</p>	<p>学校内の ピオトープ 教室</p>	<p>学校内に自然環境を増やそう。</p> 	 <p>理科の学習を生かして条件制御を行い、マトリックスを用いて自分たちでも増やすことができる。自然環境について考えている。</p>	<p>「やりたい」という思いだけでなく「やれる」という見通しを立てることの大切さに気づいていた。</p>

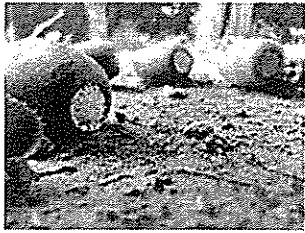

4	学校内の ビオトープ 教室	植物を育てよう。	  <p>前述したマトリックス によって増やすことができると判断した植物を植える準備をしている。</p>	使用する道具から活動する場所にいたるまでを自分たちで探したり選んだりするなど、自分たちの手で授業を作り上げていくことに少しずつ慣れてきていた。
6	学校内の ビオトープ 教室 中庭	自然を表現する方法を考えよう。	  <p>教科用図書や詩集をもとにしなが、詩の書き方を学んでいる。</p>	表現する方法として絵や写真があげられたがそれらは視覚的な良さしか伝えることができないという気づきがあった。 そこで国語科で学んだ「詩」であれば聴覚や嗅覚、触覚で感じたことも表現することが

		<p>自然を言葉で表現しよう。</p>		<p>できるという声があげられた。</p>
				
			 <p>授業の冒頭で担任が「今日は雨だけど、何をする」と問い掛けると、雨でしか聞くことができない音や、見ることができない色などがありそうだから、天気によって変わる自然を見つけたいという声があがった。</p> <p>五感で雨を感じ取っている。</p>	<p>授業の冒頭で担任が「今日は雨だけど、何をする」と問い掛けると、雨でしか聞くことができない音や、見ることができない色などがありそうだから、天気によって変わる自然を見つけたいという声があがった。</p>
			 <p>感じたことを自由に言葉で表現している。</p>	<p>五感を十二分に発揮して自然を感じ取ったことで、一人一人の詩に多様な表現が見られた。</p>
<p>15</p>	<p>教室 地域の公園 地域の海岸 校内ビオトープ</p>	<p>自分たちが見つけた自然の良さを発信するための準備をしよう。</p>	 <p>身近な公園にある自然に</p>	<p>環境フォト・コンテストの存在を知り、改めて自分たちの町の自然に目を向けようとしていた。今回はフォト・コンテスト</p>

			<p>目を向けている。</p>  <p>児童が撮影した写真①</p>  <p>児童が撮影した写真②</p>  <p>公園には“緑色”が多かったことから、“青”を求めて海に校外学習へ来た様子。</p>  <p>児童が撮影した写真③</p>  <p>児童が撮影した写真④</p>	<p>ということもあり、媒体の中心は写真となるが、合わせて200文字の文章も記載するという規定があるため、これまで学習してきた「文字で魅力を表す」ということを生かそうと意欲的に取り組んでいた。</p>
--	--	--	--	--




			 <p>環境フォト・コンテスト「わたしのまちの〇と×」に出品する作品を作成している様子。</p>  <p>横須賀市民文化祭【俳句】部門に出品する作品を作成している様子。</p>	<p>いくつかの景色を並べ、比較しながら見ることで、地域の特徴に気づくことができていた。</p>
10	<p>教室 図工室 体育館</p>	<p>自分たちの手で「まちの自然環境のよさ」を伝えよう。①</p>		

			 <p>入選した児童の作品。 『どんぐり村』</p> <p>右記の他、横須賀市民文化祭「俳句部門」に秋の自然をテーマとした俳句を応募し、1名が生涯学習財団賞、。</p>	<p>大津観光写真コンクールにおいて児童1名の作品が学生特別賞を受賞し、学級全体で達成感を得ていた。しかし、入賞作品以外については人目に触れられないことに気づくと、自分たちが主催し、自分たちで作品展を作り上げていくことでたくさんの人に「まちの自然環境のよさ」を伝えていくことができると見だしていた。</p>
15	<p>教室 横須賀市文化会館</p>	<p>自分たちの手でもっと「まちの自然環境のよさ」を伝えられる方法を考えよう。</p>	 <p>書道での表現活動。</p>	<p>上記の理由により、作品展を開催する準備として「環境」をテーマにした作品展をまずは校内で実施することとした。また、そのためには本物の作品展を知りたいという思いがあったことから、横須賀市文化会館で行われている「ちいしば書道展」を見学し、そこでの学びを生かしていた。</p>



	<p>横須賀市文化会館</p> <p>体育館</p>	<p>伝えたいことが伝わるように表現しよう。</p>	 <p>「ちいろば書道展」を見学している様子。</p>   <p>ちいろば書道会「師範」の方に来校していただき自然環境のよさを書で表している様子。</p>	<p>9月に応募した環境フォト・コンテスト「わたしのまちの〇と×」が学校団体優良賞を受賞した。子ども達が「自分たちの力が社会で認められている」ということを自覚できたことで、「より先へ進みたい」という意欲の高まりが見られた。</p> <p>他教科において「自分にしかできない表現」を追究してきたことから、ここでも「自分は」という思いで取り組んでいた。師範にご協力いただくことでこれまでの力がさらに高まっていく充実感を味わい、とても前のめりになって取り組んでいた。</p>
10	教室	自分たちの手で「まちな自然環境のよさ」を伝えよう。②	 <p>作品の配置を考えている様子。</p>	先日見学した「ちいろば書道展」の動画や写真を参考にしながら、作品展に必要なものリストをつくり、役割分担をしながら取り組んでいた。

	横須賀市 文化会館		 <p>「学びのあと」を作成している様子。</p>  <p>展示会『自然の広場』の様子。</p>	<p>児童本人や一緒に来館した保護者の方から「想像していたものよりもすごい」という声が上がっていた。</p>
2	教室	活動を振り返ろう		<p>来館者アンケートを分析することで、自分たちにできたこと、今後改善していきたいことを考えていた。その際、算数「棒グラフで表そう」の学習を生かして客観的な数値化を図っていた。</p>

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

##### 探究サイクルの充実

「①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現」という探究の過程において、本校の地域柄に応じて人的・文的資源の活用を図っていった。

##### 子ども達の創意工夫

時間、場所、道具にできる限り制限がかからないように学びを進めていくことができるように努めるとともに、「こうしてみたら面白いかも」「とりあえずやってみて、振り返ってみたらいい」というように子ども達が常に新しいことに挑戦していくことができるような準備を心掛けていった。

##### 各教科の見方・考え方を総合的に活用

各教科での学びを生かすことができるようにするために、他教科の学習を進める際に、意図的・計画的な布石をいくつも打って置き、子ども達自身が「今、あの考え方が使える」「あのときのこれを活用したら上手くいきそう」という気づきを見いだすことができるようにした。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

##### 「子ども達の即興性」に対応する授業デザイン

前述の「子ども達の創意工夫」に即興的に対応してこそ生きた授業となり、子ども達が授業を「やらされている」ではなく「作り上げている」という感覚になると考えている。そのため幾通りもの授業デザインを持ち合わせた上で、さらに柔軟な対応が求められた。

##### 子ども達にとってはじめての「総合的な学習の時間」との出会い方

第3学年から新たにはじまる「総合的な学習の時間」のため、どのような学びが「総合的な学習の時間の学び」なのかが明確化されるように他教科の見方・考え方と区別ができるようにしていった。(国語は「言葉」、算数は「数・量」、理科は「事象の関連付け」といったように、すべての教科で教科特有の学びを意識づけていった。)

#### (3) 児童の反応

##### 「やっていいんだ」という自信

「言われたこと」をやるという姿から「自分の意志」でやる姿に成長し、その結果、子ども達自身がこの活動に対して充実感を味わうことができていた。また、総合的な学習の時間に培ったこうした姿勢が他教科でも生かされ、自分たちの学び方に自信を持つことができたのではと考える。